

宗岡中だより



11月号 令和5年11月1日(水)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「ぽかぽか」と「ちくちく」

校長 林 孝安

今年の朝霞地区新人戦は9月30日(土)から始まり、無事10月5日(木)に宗岡中学校が関係する全競技が終了しました。会議や出張の合間に、時間の許す限り応援に行かせていただき、子供たちが活躍する姿を見届けてきました。新しいチームになり3カ月ほどでしたが、どの部活動もベストを尽くし練習の成果を発揮していたように感じられました。生徒が力を発揮する上で、保護者の方の応援も力になっているのは確かです。詳しくは、次頁の結果をご参照いただければと思います。また、朝霞地区駅伝競走大会が10月17日(火)に新座市総合運動公園陸上競技場で実施されました。本校は陸上競技部も駅伝部もありませんので、校内で選手を集い、まさしく学校代表として参加しました。その結果、男子は志木市1位となり県大会出場、女子も頑張りましたが県大会へは届きませんでした。9月の暑い中、熱中症対策をしながら苦しい走り込みを行っていた姿が思い出されます。なお音楽祭については次号でお知らせします。

さて、11月は公立の小中学校にとって、「彩の国教育の日」というものがありますが、「いじめ撲滅強調月間」でもあります。いじめは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃(インターネットを通じて行われるものも含む)を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。」と定義されます。そのいじめの態様で筆頭に挙げられるものは、「ひやかしやからかい、悪口や脅し文句等の嫌なことを言われた、またはSNS等を通じて書き込まれた」とする「言葉」によるものです。皆さんは、「ぽかぽか言葉・ちくちく言葉」というフレーズを聞いたことがあると思います。よく小学校で聞かれる言葉です。文字通りぽかぽか言葉は「心を温める言葉」、ちくちく言葉は「心を痛める言葉」の意味で広く認識されています。この言葉に関連した興味深い記事がありましたので紹介します。



『言葉の持つ力は、良きにつけ悪きにつけ、話す相手だけでなく、自分も同じ影響を受ける。』人は思っていることを言葉にする。つまり、言葉にすることはそう思っていることの表れ。また繰り返し、言葉にするとそれだけ強く思っている言葉として意識される。だから意識は行動に表れる。」というものです。このことから、「ぽかぽか言葉」は、快の気持ちを相手に与えると同時に自分自身に対しても快の気持ちをもたらす、「ちくちく言葉」は、その逆の不快な気持ちを相手だけでなく、自分にももたらすと云えます。そのため、「いじめ」につながる言葉の暴力は、相手を傷つけるとともに、何よりその言葉を発した自分自身を深く傷つけ、自尊感情を損ねてしまう行為なのです。いじめはどこの学校でも発生します。我々大人は、発生時には早期把握と早期解決に向けて、そして「いじめ防止」に関する意識の高揚を学校一丸となって、今後も日々の学校生活を通して図ってまいります。